令和８年度秋　九州市長会意見交換会資料

人が輝き　まちが飛躍する
住みたいまち　住みつづけたいまち



飯塚市　武井政一

飯塚市の概要

●人　口：123,116 人(住基 Ｒ８.８月末現在)

◇うち 男性：58,970 人
　　女性：64,146 人

福岡県で４番目の人口規模

◇年齢３区分人口(住基 Ｒ７.９月末現在)

・年少人口(15歳未満)　　：15,171 人(12.3%)
　※日本の割合：11.2%(Ｒ６統計局ＨＰ)
・生産年齢人口(15～64歳)：68,365 人(55.3%)
　※日本の割合：59.6%(Ｒ６統計局ＨＰ)
・老年人口(65歳以上)　　：40,005 人(32.5%)
　※日本の割合：29.3%(Ｒ６統計局ＨＰ)

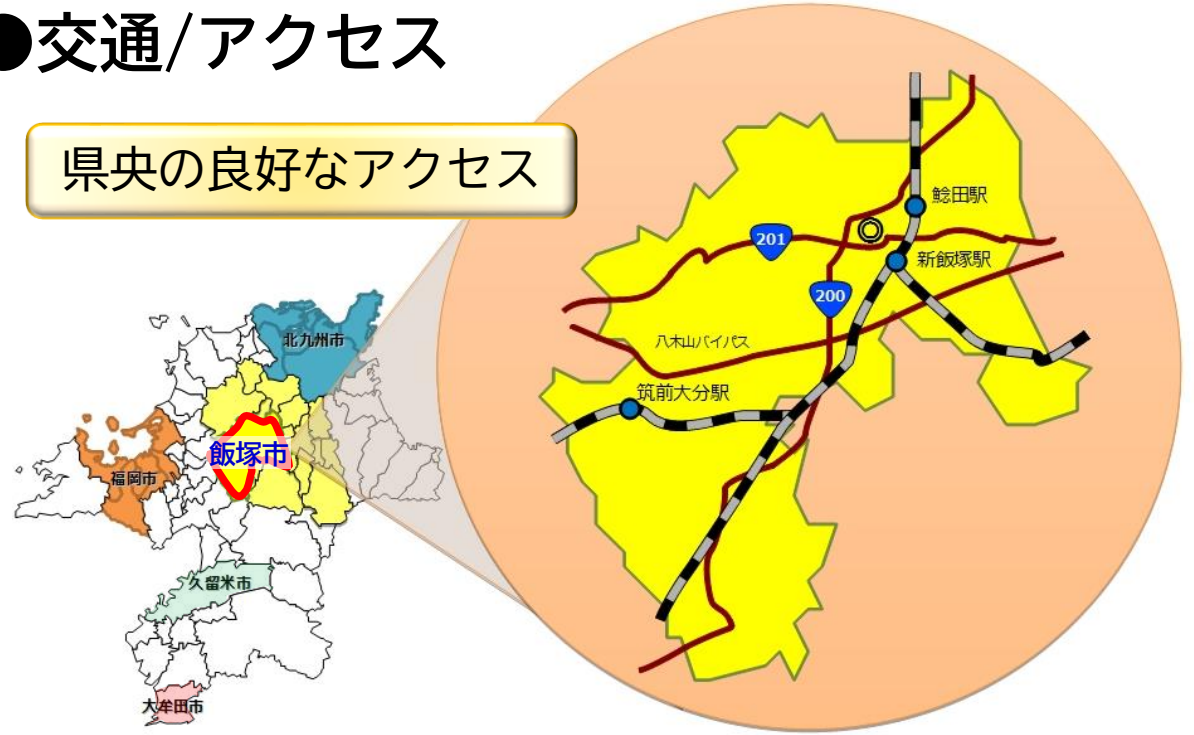
◇合計特殊出生率：1.46（全国 1.15）（Ｒ６）

●世帯数：64,918 世帯

●面　積：213.96 ㎢

●交通/アクセス

県央の良好なアクセス



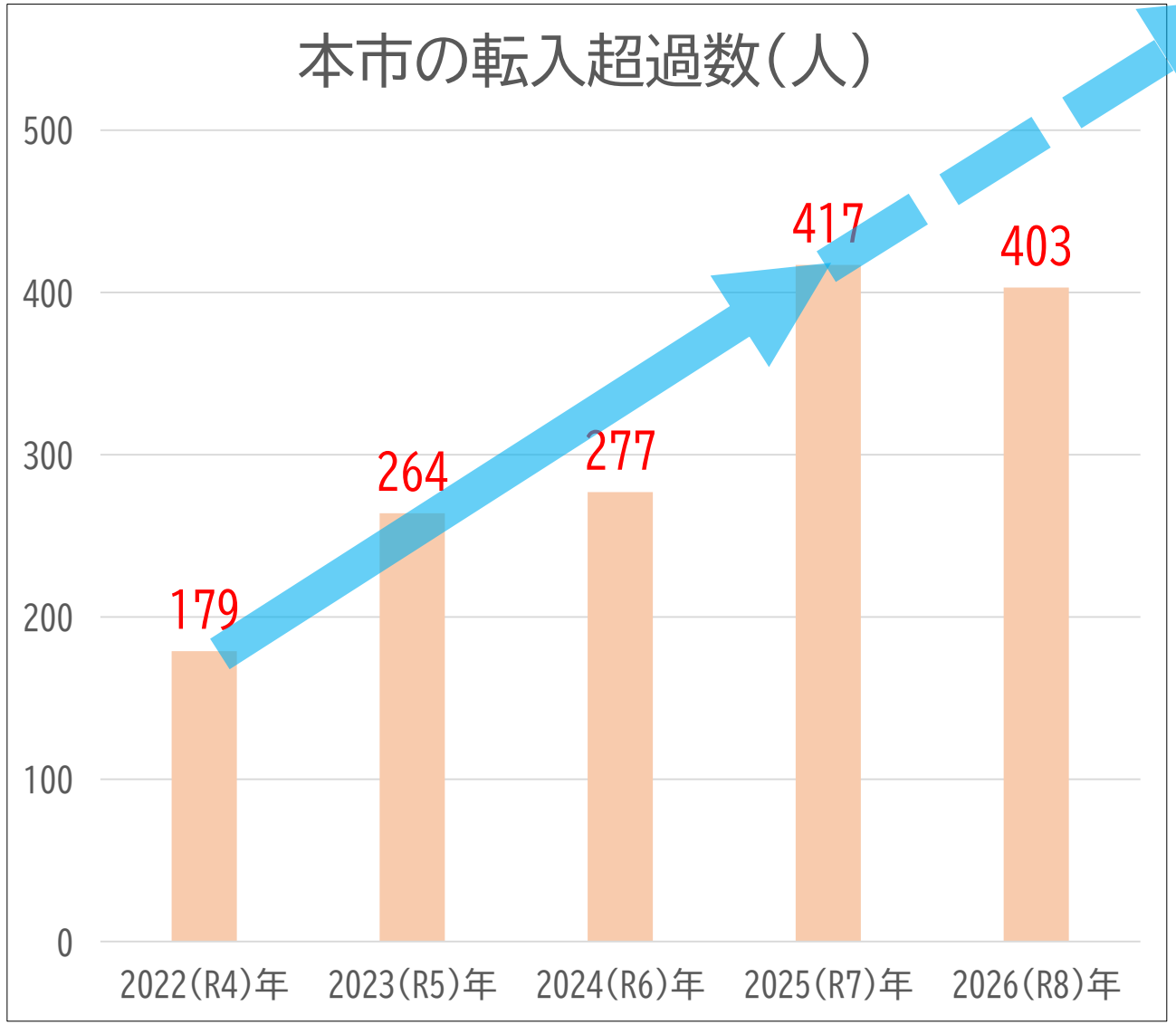
自家用車なら
福岡空港・・・30km(50分)
北九州空港・・50km(60分)
福岡IC・・・・27km(40分)
八幡IC・・・・20km(40分)
筑後小郡IC・・35km(60分)

バス・鉄道なら
JR博多駅・・・40分(快速)
JR小倉駅・・・60分
天神BT・・・・55分

福岡都市圏と飯塚を結ぶ**八木山バイパス４車線化**も着工
更に福岡都市圏が近くなります。
※篠栗区間(福岡方面側)～2025(R7)3月供用開始　飯塚区間(飯塚方面側)～2029(R11)年度供用開始予定

４年連続で社会増が続く　飯塚市！

●人口は減少しているものの、社会増(転入超過)が４年連続という明るい兆し！



（参考）年代別社会増減(1～12月の暦年での数値)

	2022(R4)	2023(R5)	2023(R6)	2024(R7)
０～９歳	30	59	19	12
１０代	161	62	160	169
２０代	-83	-26	-75	25
３０代	-10	66	-14	2
４０代	5	4	79	69
５０代	47	42	46	55
６０歳以上	29	57	62	85

- ２０２５(Ｒ７)年は全年代で転入超過！
- ２０２６(Ｒ８)年も社会増(転入超過)を期待できる！
  (Ｒ８.８月末現在：４０３人の転入超過)
- ２０２３(Ｒ５)年には「ＡＲＵＨＩ presents 本当に住みやすい街大賞2023 in 福岡」でＪＲ新飯塚駅周辺のエリアが『第３位』に！

人口の維持・増加のために　＝魅力ある『持続可能な飯塚市』

都市目標像（第２次飯塚市総合計画　2017～2026）

人が輝き　まちが飛躍する　住みたいまち　住みつづけたいまち

～ 共に創り　未来につなぐ　幸せ実感都市　いいづか ～

※「人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち」は第１次飯塚市総合計画から継続。また、第３次飯塚市総合計画に引き継ぐ見込み。

市長としてのまちづくりの「５つの柱」

- ●未来を担うこどもを育む　**「教育のまち」**
- ●安心して産み育てることができる　**「子育てのまち」**
- ●高齢者が安心して暮らせる　**「福祉のまち」**
- ●地元に働く場所がある　**「活力あるまち」**
- ●文化やスポーツが盛んな　**「健康なまち」**

まちの魅力づくり

まちの魅力づくり　＝　『まちづくりの５つの柱』

未来を担うこどもを育む「教育のまち」

◆こどもの夢や希望の実現を支援する**体験型キャリア教育施設の継続**
◆オンライン英会話・ALT活用・小学校専科教員による**小・中学校英語教育の継続**
◆思考力や創造力を培う**ＳＴＥＡＭ教育の継続**
◆福岡都市圏と同等以上の学力を目指した**学力向上の取組の継続**
◆市教育支援センターや校内教育支援センター等による**不登校への支援の継続**
◆**市立小・中学校体育館の空調整備の推進**

安心して産み育てることができる「子育てのまち」

◆第2子以降の出産を選択できる環境づくりのため**第2子以降の保育料無償化の継続**
◆出前講座等**プレコンセプションケアの継続**
◆妊婦１人に14回分の受診券を発行する**妊婦健康診査の継続**
◆聴覚障害の早期発見・早期療育推進に繋げる**全ての新生児の聴覚検査の継続**
◆学校給食における**小学校無償化と中学校保護者負担軽減の継続**
◆**病児病後児の対応の継続**

高齢者が安心して暮らせる「福祉のまち」

◆フレイル予防サポーター交流会実施など各種**フレイル予防事業の継続**
◆高齢者のいきがいづくりに寄与する**放課後こども教室推進事業の継続**
◆高齢者や障がい者など要配慮者の災害時避難に備える**避難行動要支援者等対策事業の継続**
◆担い手等の育成、社会参加・生活支援・介護予防の充実を図る**生活支援体制整備事業の継続**

地元に働く場所がある「活力あるまち」

◆令和11年度の供用開始に向けた**飯塚あかね工業団地の整備**
◆指定産業の集積及び活性化、雇用機会の拡大を図るため、市内において新たに設備投資や事業所増設等を行う事業者に対する**企業立地促進補助金の継続**
◆地域での就職促進につなげる**地域雇用活性化推進事業の継続**
◆旧伊藤伝右衛門邸の夜間開館･イルミネーションなど観光による**交流人口増の促進**
◆まちの活力につながる**菰田・堀池地区活性化事業の実施**

文化やスポーツが盛んな「健康なまち」

◆共生社会の実現にもつながる**飯塚国際車いすテニス大会支援の継続**
◆若手音楽家の発掘育成を目的とした**飯塚新人音楽コンクール支援の継続**
◆夢に向かって努力する方を支援する**全国大会等出場報奨制度の継続**
◆高校生バスケットの強豪校による大会である**飯塚カップの継続**
◆文化財である芝居小屋「**嘉穂劇場**」**の保存整備事業の継続**
◆旧伊藤伝右衛門邸ほか市内各所で飾られる**雛のまつり支援の継続**

『創意ある施策』で『まちの魅力』を創出し、移住・定住者を呼び込む

◆県外からのＵＩＪターンに対する**移住支援助成事業の継続**
◆筑豊圏域外からの住宅取得転入世帯への**住宅取得移住奨励事業の継続**

未来を担うこどもを育む「教育のまち」

～　飯塚市の未来を担い、世界へはばたく
「本物志向、未来志向」の教育　～



飯塚市教育委員会

飯塚市の教育環境

小・中・高・大が整備された飯塚市の教育環境

【市内の小・中学校】
〇飯塚市立小・中学校：小学校１９校、中学校１０校（施設一体型小中一貫校４校を含む）
〇福岡県立中学校：嘉穂高等学校附属中学校
〇私立小・中学校：飯塚日新館小・中学校

公立・私立の小中高大が揃う
学 園 都 市

【市内の高等学校】
〇福岡県立嘉穂高等学校（理数科、普通科、武道・日本文化コース）
〇福岡県立嘉穂東高等学校（普通科、英語科、定時制課程普通科）
〇嶋田学園飯塚高等学校（普通科、保育福祉科、総合学科）
〇近畿大学附属福岡高等学校（普通科、看護科）

【市内の大学】


近畿大学産業理工学部


近畿大学九州短期大学


九州工業大学情報工学部

飯塚市の学校教育の全体構想（教育大綱の基本理念・目標・施策）

基本理念：「本物志向・未来志向」のひとづくりのために

「本物」との出会いや体験を通して、自己や社会の「未来」を自らの力で創造していくことができるこどもの育成

コミュニケーション能力　コラボレーション能力　イノベーション能力

基本目標

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」
「かしこく」「やさしく」「たくましい」こどもの育成

確かな学力

- 算数・数学の学習
- 英語学習
- ＳＴＥＡＭ教育
- 徹底反復学習
- 協調学習
- 多層指導モデル（MIM）

豊かな心

- キャリア教育
- 道徳教育
- 人権教育
- ライフスキル教育
- グローバル教育

健やかな体

- 体力向上プラン
- スポコン広場
- 早寝、早起き・朝ご飯
- 健康教育
- 食　育

教 育 Ｄ Ｘ

未来社会を切り拓く資質・能力を育成する小中一貫教育

９年間の連続した学び

「小中一貫教育の推進」～９年間の連続した学び～

- 飯塚市学校再編整備計画（平成23年策定）を基に、地域と一体となった学校づくりや一貫した教育環境の構築を図るため、中学校区を単位として再編が具体化した。
- 義務教育９年間を見通した小中一貫教育を推進するため、地域と連携しながら、特色のある教育活動を行っている。
- 乗り入れ授業・小中合同行事・異年齢交流学習等を実施し、一貫性と連続性のある指導を行っている。
- 中学校区ごとに「小中一貫教育９年間活動プラン」を作成し、小中一貫教育の充実を図っている。



小中一貫校嶺田校
平成25年開校



小中一貫校幸袋校
平成29年開校



小中一貫校穂波東校
平成30年開校



小中一貫校飯塚鎮西校
平成30年開校

小中９年間をつなぐ３つの学習プログラム（平成23年から）

《協調学習（知識構成型ジグソー法）》



「主体的・対話的で深い学び」を引き起こす学習法。
こどもたちが協同して課題を解決する一つの手法で、
21世紀を生きるこどもたちに必要な資質・能力である
思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。

《徹底反復学習》

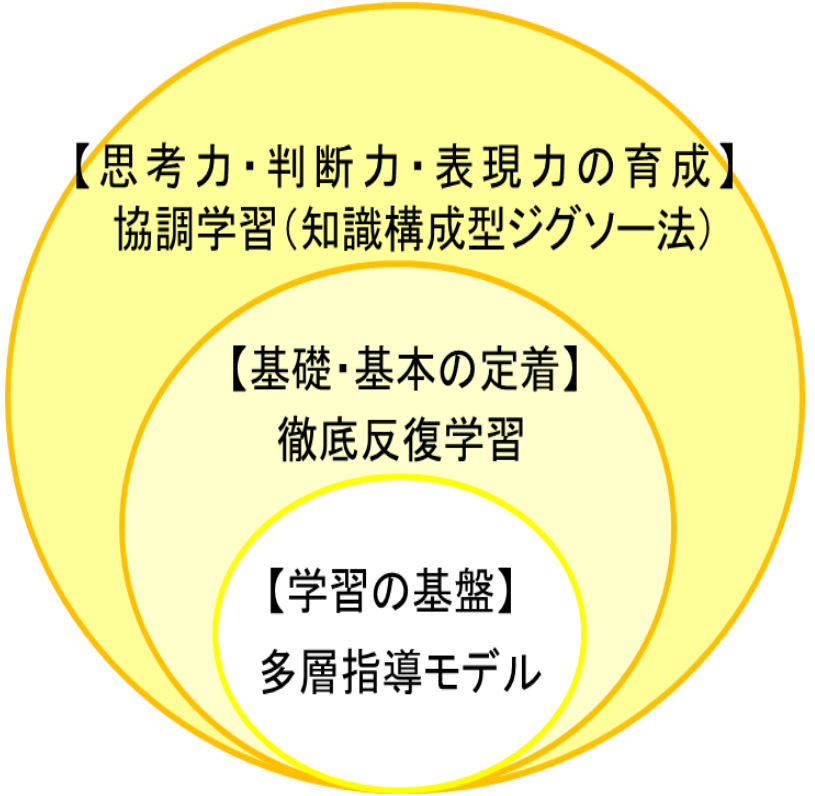


「読み・書き・計算」といった学習の基礎となるスキルを短時間で集中して行っている。朝学習や授業の冒頭などに取り入れ、集中力や学習意欲を高めるとともに、基礎・基本の確実な定着を図っている。

《多層指導モデルMIM》



全ての小学校で導入。学習の基礎となる「読み」に
対して、毎月、短時間でのアセスメントを実施し、
早期の段階でこどもがつまずく前に、またつまずきが
大きくなる前に、個別最適な指導・支援を実施している。



次代の飯塚市を担うひとづくり（新３つの教育プログラム）

英語教育（グローバル人材の育成）

グローバル社会を生き抜き、多様な人々と協働するための実践的なコミュニケーション能力の素地を育みます。
外国語でコミュニケーションを図る素質・能力を育成するため、オンライン英会話やＡＬＴなどと実践的な学習の充実を目指します。

キャリア教育（未来人材の育成）

こどもたちが、夢や目標を持ち、地域や社会的変化の中で主体的に自らの生き方を切り拓く力と誇りを育みます。
将来を豊かに生きていけるよう一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てるキャリア教育を推進します。

STEAM教育（イノベーション人材の育成）

こどもたちが単に知識をインプットするのではなく、目の前の課題に対して自分の手や頭を動かして「創り」、試行錯誤しながら「創りかえ」、その成果や家庭を仲間に「伝える」という探究的な学習を重視しています。

グローバル化に対応した英語教育　（令和８年度　飯塚市小・中学校外国語教育推進構想）

グローバル化に対応した児童生徒の育成
～英語で基本的なコミュニケーションが可能な人材の育成～

目標：〇中学校３年時に英検３級合格レベル　〇小学校６年時に英検５級合格レベル

指標：〇中学校　英語ＩＢＡテストにおいて英検３級合格レベル50%以上(国の指標)・・・本市：Ｒ５年度41.7%・Ｒ６年度34.1%・Ｒ７年度38.8%
〇小学校　英検ＥＳＧテストにおいて英検５級合格レベル50%以上・・・・・・・・本市：Ｒ５年度68.2%・Ｒ６年度66.7%・Ｒ７年度66.4%

オンライン英会話(小・中)

〇個に応じた指導（個別最適な学び）
〇会話時間（量）の確保
・小学校：６年８回⇒１対１のマンツーマン
５年10回⇒１対２のペア学習
・中学校：８回(各ユニットに１回)
※３年のみ６回

ＡＬＴの活用(小・中)

〇集団の場での
コミュニケーション能力の向上
（ＡＬＴ、他者との交流による学び）
〇ファシリテーター的役割による表現
することのサポート
・小学校：外国語活動　学級5回
・中学校：学級平均8回

授業改善

・主体的な学びの実現
・ＣＡＮ　ＤＯ　リストの活用
・小中の円滑な接続

「話す力」・「聞く力」
「読む力」・「書く力」

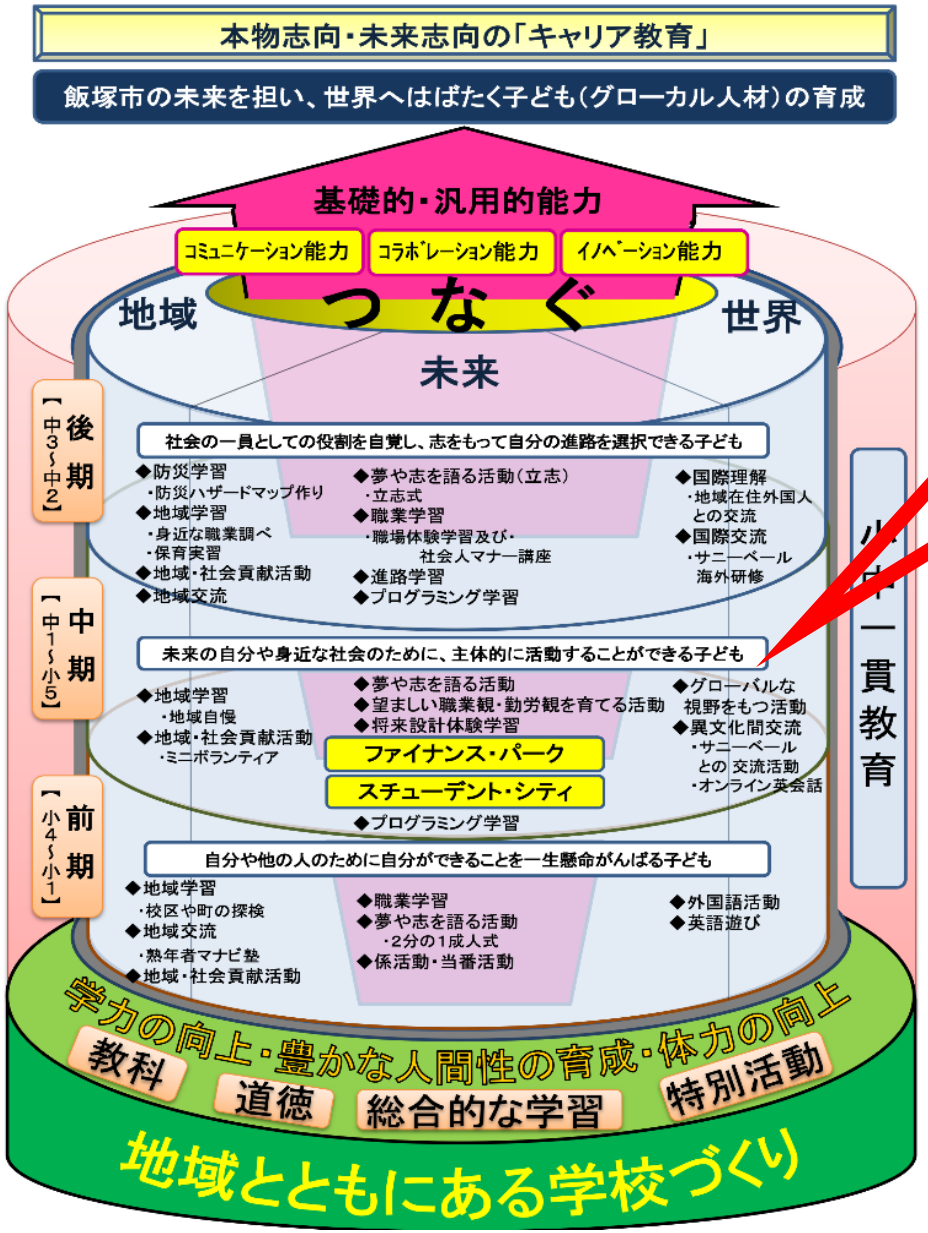
研修の充実(小・中)

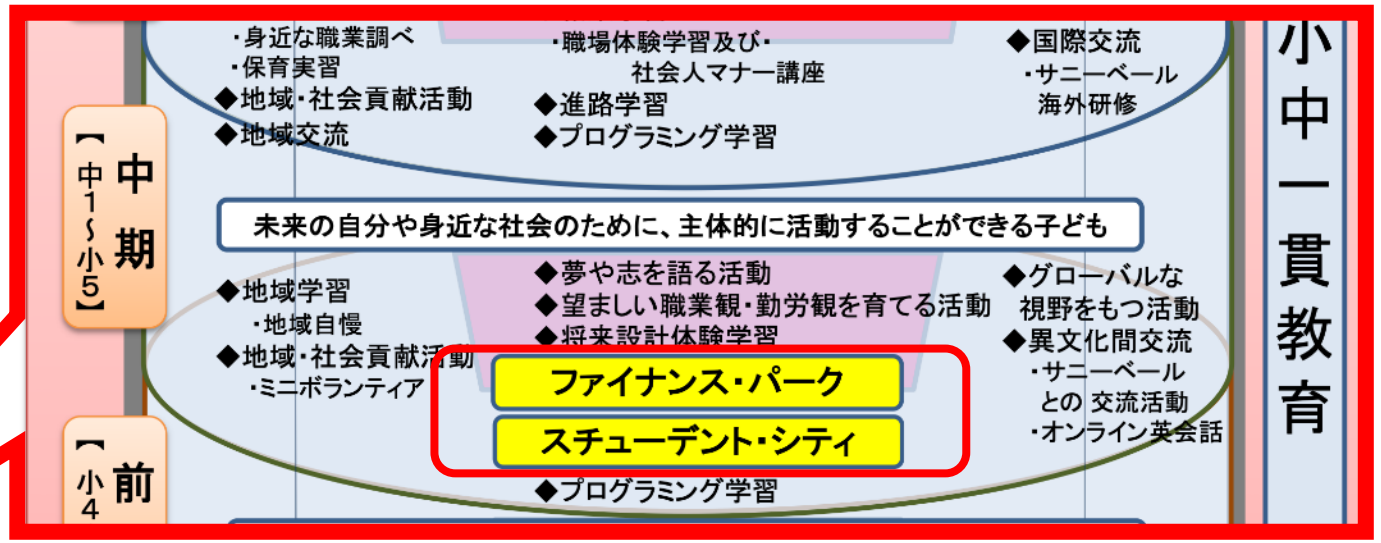
〇教員の指導力向上
・オンライン英会話研修
・小学校外国語科専科研修
・小学校外国語活動担当者研修
・中学校外国語科担当者研修

外国語科専科による授業(小)

〇専門性の高い授業展開
〇中学校への円滑な接続
・６年教科担任制(専科教員６名)
（オンライン英会話を含む）
・５年教科一部担当制
（オンライン英会話のみ）

キャリア教育の全体構想





「生涯学習ひろば」において実施

小５：スチューデント・シティ
（経済体験学習）
中１：ファイナンス・パーク
（将来設計体験学習）

キャリア教育の推進（体験型キャリア教育）

未来を創るこどもたちの「生きる力」を育む体験型キャリア教育

スチューデント・シティ（経済体験学習）

タブレット端末を利用した電子マネーの使用。
ネットワークを利用した職場間の契約などの取引も体験！

模擬設営された銀行、商店、市役所等で事前学習を基に、児童が消費者役と企業に勤める社員役、それぞれの立場を体験し、社会の動きや経済の仕組み、社会と自分の関わりなどを学びます。
【対象：小学校５年生】



ドラックストア



ショッピングセンター



市役所



情報処理関連市内企業



信用金庫



ショッピングセンター

※　スチューデント・シティ、ファイナンス・パークは、公益社団法人ジュニアアチーブメント日本が提供する学習プログラムです。

キャリア教育の推進（体験型キャリア教育）

未来を創るこどもたちの「生きる力」を育む体験型キャリア教育

ファイナンス・パーク（将来設計体験学習）

ネットワークを利用して情報収集。
生活に必要な費用の試算や契約、支払いもタブレット端末で！

税金・保険をはじめ食費や光熱水費など生活に必要な費用の試算や様々な商品、サービスの購入・契約などを体験し、社会に溢れる情報を適切に活用する力や自らの生き方につながる生活設計力を身に付けます。

【対象：中学校１年生（７年生）】



代表者が報告している様子



グループで資産を算出している様子



企業について調べている様子



ボランティアからアドバイスをもらいながら算出している様子

※　スチューデント・シティ、ファイナンス・パークは、公益社団法人ジュニアアチーブメント日本が提供する学習プログラムです。

飯塚市が進めるＳＴＥＡＭ教育について

ＳＴＥＡＭ教育

Science,Technology,Engineering,Art,Mathematics等の各教科での学習を**実社会での課題解決**に生かしていくための**教科横断的な教育**

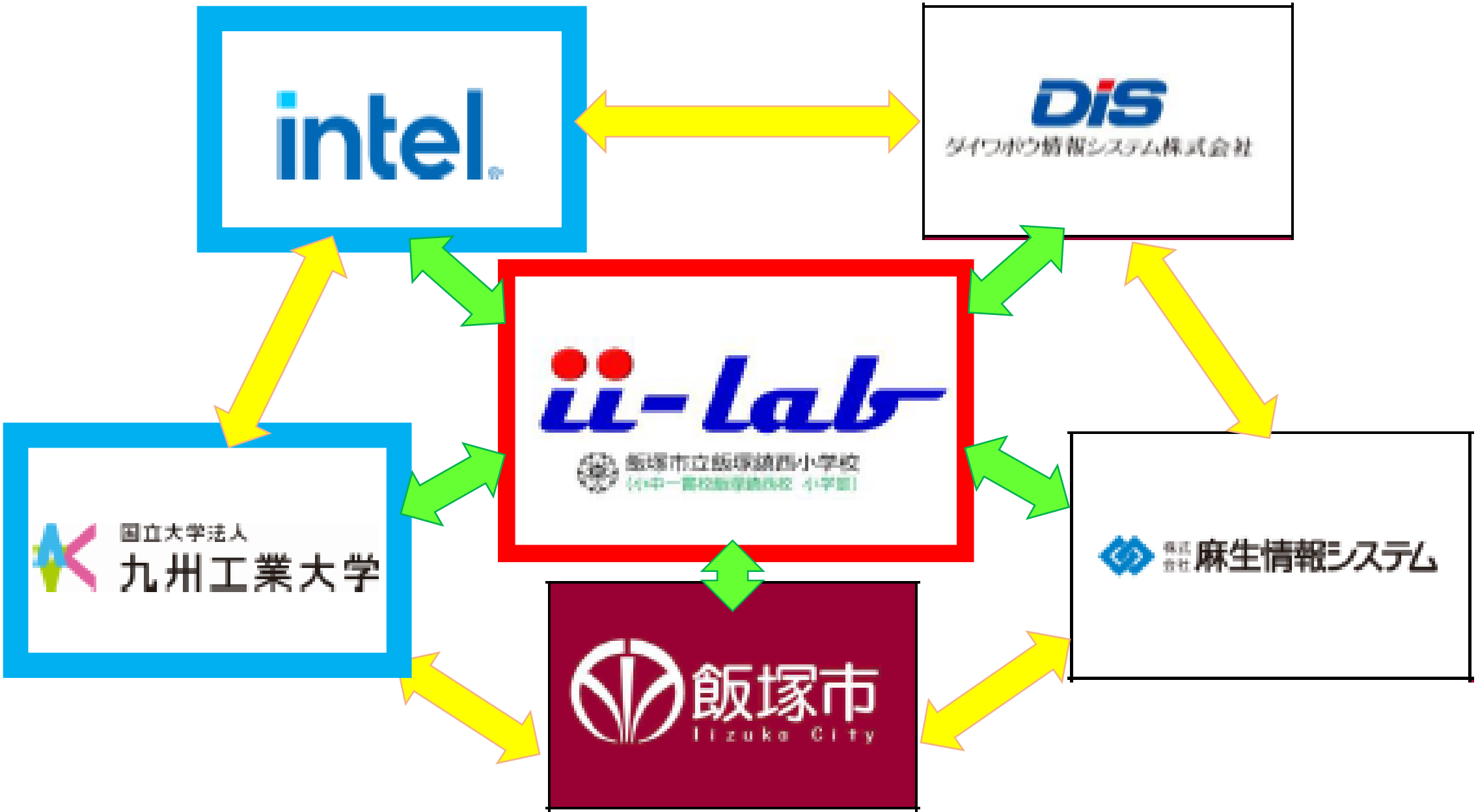
各教科・領域固有の知識や考え方を**統合的に活用**することを通した**問題解決的な学習**を重視

☞ **飯塚市ＳＴＥＡＭ教育実証研究校を指定**

※STEAM教育実証研究校＝飯塚市立飯塚鎮西小学校（令和６～７年度）

今後は段階的に、市立全小・中学校（29校）で実施予定

ＳＴＥＡＭ教育　地域・大学・起業との連携



ＳＴＥＡＭ教育　ｉｉ-Lab飯塚鎮西小学校の機材構成

～未来の課題解決のための先進テクノロジー活用・応用を体験させる新しいPC教室環境～

パソコン、表示関連



ハイスペックPC+
31.5型大画面モニター



大型表示装置
（液晶プロジェクター）
壁掛け設置



全面ホワイトボード
（教室前方）



高性能カメラ

アウトプット関連



3Dプリンター



レーザー加工機



クロマキー合成画像



可動式ホワイトボード



ネットワーク機器



アプリケーション



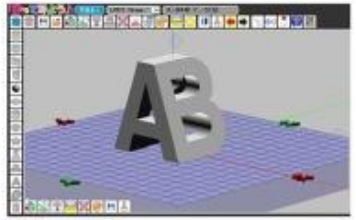
グラフィックス/動画編集関連



ペンタブレット

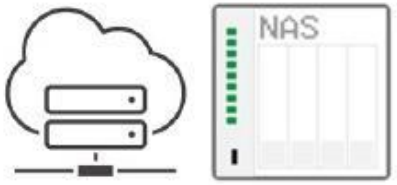


MIDIキーボード



3Dモデリングソフト

インフラ関連



データバックアップ／NAS

All contents are Copyright (C)2024 DAIWABO INFORMATION SYSTEM CO.,LTD.　All rights reserved.

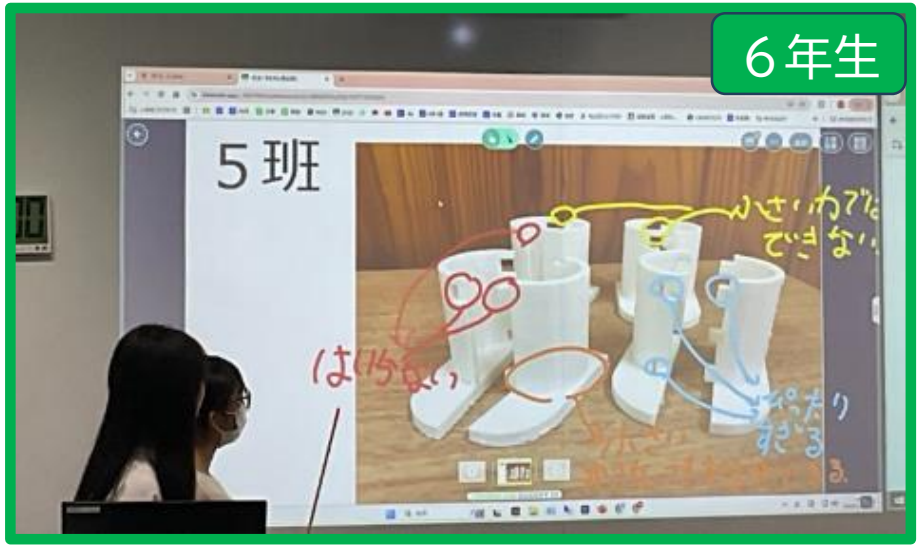
ＳＴＥＡＭ教育　授業風景



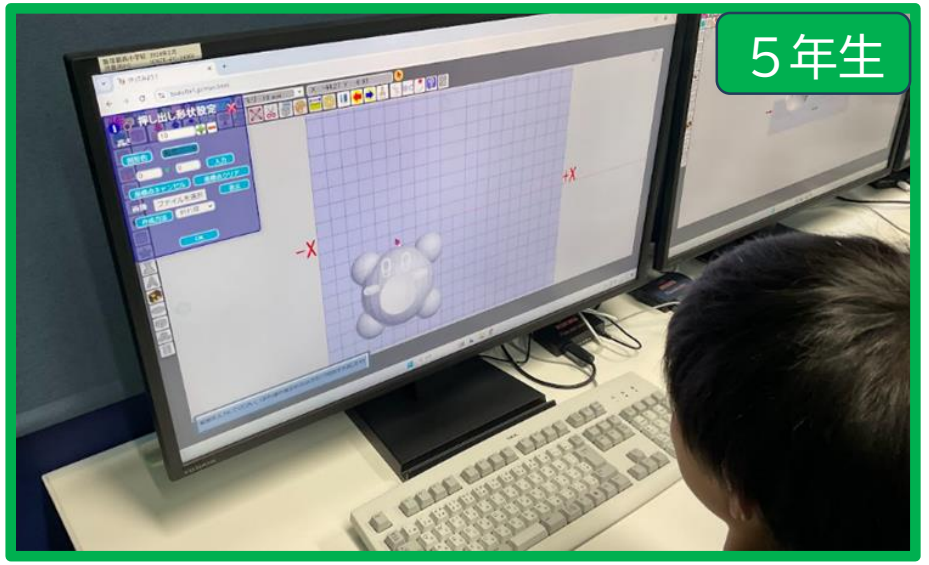
3Dプリンタで作成した試作品を検討している様子



編集した映像をチェックしている様子



創った作品をプレゼンしている様子



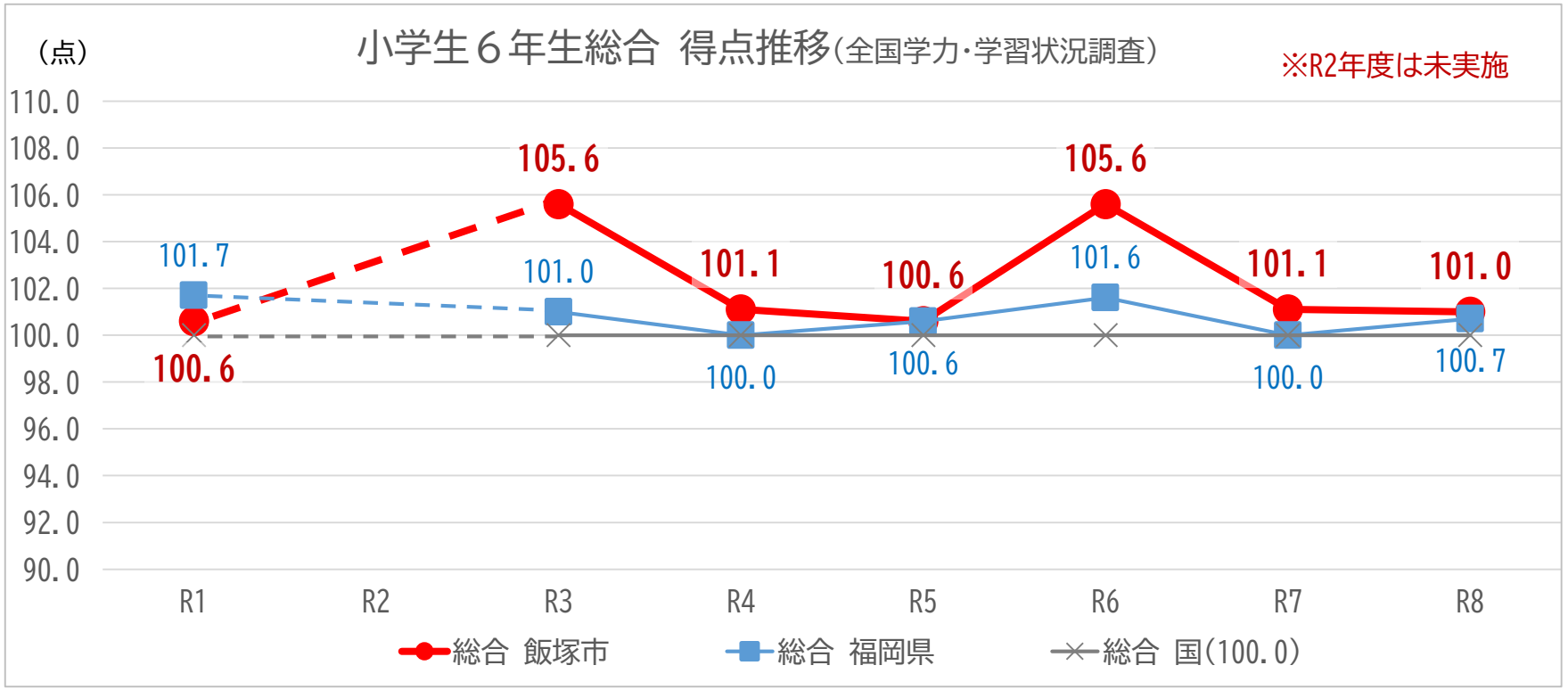
ソフトを使い高性能PCで作図している様子

飯塚市の学力の実態（全国学力学習状況調査結果（標準化得点）の推移：経年変化）

小学校 国算総合

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
飯塚市	100.6	未実施	105.6	101.1	100.6	105.6	101.1	101.0
福岡県	101.7	未実施	101.0	100.0	100.6	101.6	100.0	100.7
国（100.0）	100.0	未実施	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

小学校では、ほぼ全国平均であるが、２年連続で下降している。

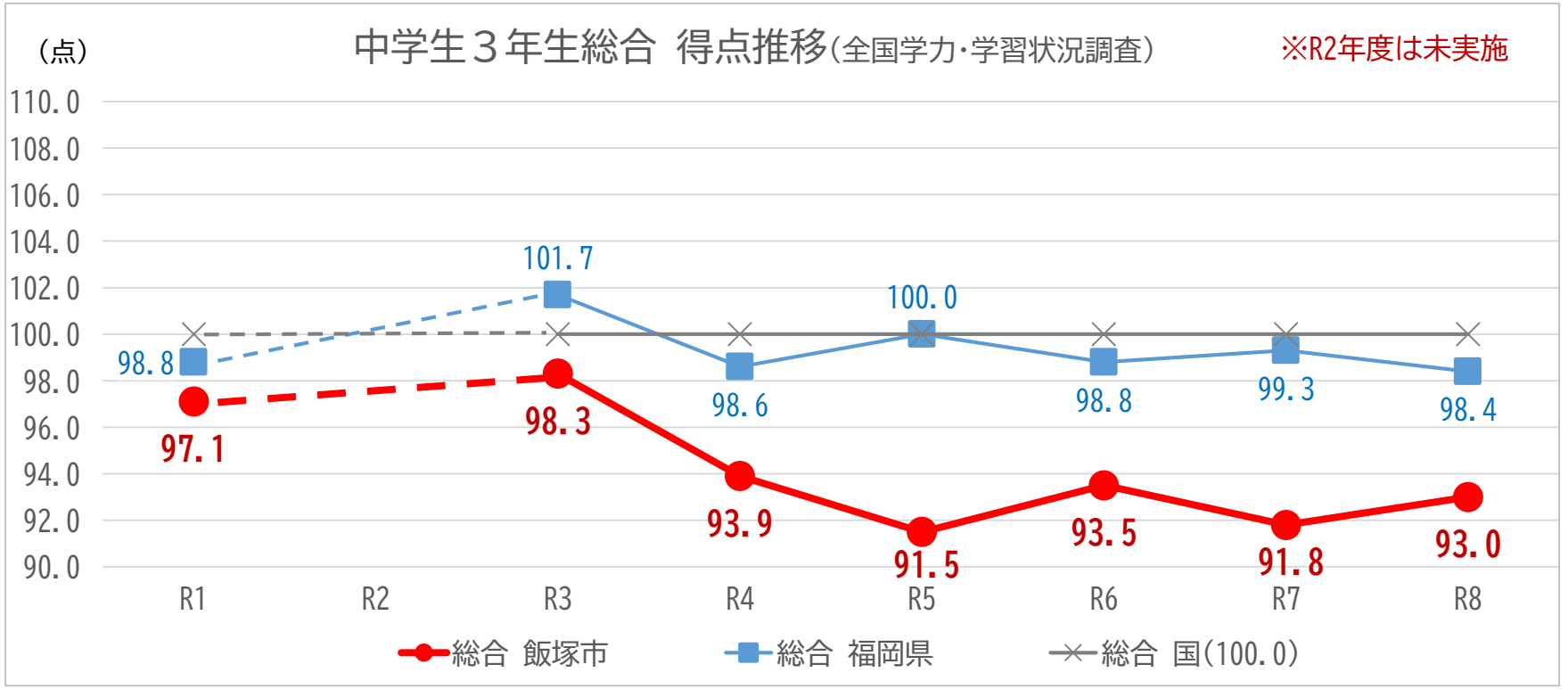


飯塚市の学力の実態（全国学力学習状況調査結果（標準化得点）の推移：経年変化）

中学校 国数総合

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
飯塚市	97.1	未実施	98.3	93.9	91.5	93.5	91.8	93.0
福岡県	98.8	未実施	101.7	98.6	100.0	98.8	99.3	98.4
国(100.0)	100.0	未実施	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

中学校では、令和３年度をピークに、全国平均を超えるに至っていない。



安心して産み育てることができる「子育てのまち」
～　飯塚市の子育て支援策について　～



飯塚市 こども未来部 こども若者支援課

飯塚市のこども政策の全体像

現状

要因

対応事業

検証

少子化対策

出生率の維持　R5:1.46　→ R6:1.46
出生数の減少　R5:813人 → R6:782人
婚姻数の減少　R5:494組 → R6:481組

ライフプランの多様化

結婚観等の変化

若い世代の所得水準

雇用状況（非正規）

若い世代の将来設計選択肢の最大化

○婚活支援（JUNOALL）

○プレコンセプションケア出前講座（R8～）

まち・ひと・しごと創生総合戦略における効果検証

【評価指標】
年少人口・出生数・待機児童数
本市で今後も子育てしたい割合

こども・子育て施策

不登校児童生徒数の減少　R5年度末:556人 → R6年度末:527人　※虐待に関する状況の報告書
児童虐待相談件数の減少　R5年度:3,297件 → R6年度:2,763件　※虐待に関する状況の報告書
収入が低い世帯の子育てに関する相談で頼れる人がいる割合　R6:84.6%　※こども計画

子育ての経済的・精神的・身体的な負担

子育て世帯の就労状況の変化（共働き・慢性的時間不足）
子育てに対する寛容性の不足（子育てが楽しめない雰囲気）
子育て世帯の厳しい生活環境（保育料・住環境・奨学金返済）

孤独な子育て・支援者の不足
こどもの居場所・相談相手の不足
特別な支援が必要なこどもへの支援不足

子育て支援を推進するための3つのアプローチ

○第2子以降の保育料完全無償化（R6～）・養育費保証促進・新生児聴覚検査（R7～）

○プレコンセプションケア推進事業（R8～）・ファミリーサポートセンター病児緊急対応強化（R6～）
公立おむつサブスク事業（R8～）・こども若者プラザの開設（R8～）・こどもの居場所づくり推進（R7～）
乳幼児等通園支援（R7～・【拡充】R8～）・保育施設整備補助・公立保育施設整備（R8～）
陣痛タクシー（R6～）・産前産後生活支援・カンガルーケア

○こども審議会の機能強化（R7～）・子育て支援のための特別休暇の取得促進（R7～）
こども未来部の設置（R6～）

飯塚市こども計画における効果検証

【評価指標】
各事業における事務事業評価シートで設定した成果指標（KPI）

目標　2060（令和42年）に人口10万人の実現　～人が輝き　まちが飛躍する　住みたいまち　住みつづけたいまち～

令和８年度　子育て支援を推進するための３つのアプローチ
～安心して生み育てることができる「子育てのまち」を目指して～

①経済的な支援

【独自事業】第２子以降の保育料完全無償化

生計を同一にしているこどものうち、第１子の年齢制限を設けずに、
市内在住の０～２歳児までの第２子以降の保育料の完全無償化を実施
→共働き世帯、多子世帯の経済的支援を促進

【独自事業】養育費保証促進事業

養育費の債務名義化と履行確保を図り、手続き等に関する費用や 債務保証料等に対する補助を実施
→ひとり親家庭の経済的自立を促進

②精神的・身体的な支援

【独自事業】プレコンセプションケア推進事業

男女を問わず若い世代のうちからライフプランを考える機会を提供し、家庭を持つための経済的知識や本人の希望に沿った妊娠・出産のための身体的知識を得られる講座の実施や検査が受けられる体制整備を検討
→若者のライフプラン確立支援と希望するこどもを持つための適切な準備を促進

【独自事業】ファミリーサポートセンター事業

ボランティアによる預かり（ファミリーサポートセンター）事業を病児・病後児・緊急時にも対応できるよう体制の強化を実施
→社会全体で子育てを支えるネットワークづくりと共働き世帯支援の推進

【独自事業】おむつのサブスク事業

公立保育施設を利用する保護者や保育現場の負担軽減を図るために、定額でおむつ等が使い放題になる「おむつのサブスク事業」を実施
→保護者の負担を軽減し、子育てしやすい環境整備を推進

【独自事業】こども・若者プラザいいづかの開設

中心市街地に立地する i-town 内にこども・若者の支援機関(飯塚少年相談センター・教育支援センター等）を集約し、支援体制を強化するとともに若者が滞在できる居場所の提供を実施
→若者支援の機能強化と若者の居場所づくりの推進

【独自事業】こどもの居場所づくり推進事業

飯塚市社会福祉協議会・NPO法人いるかとの連携により、こども食堂の運営支援・寄附食材等の物流拠点の整備を実施
→社会全体でこどもの居場所づくりを推進するネットワーク構築と支援の仕組みづくりの推進

③こども施策の推進・事業所としての取組

こども審議会の機能強化

こども施策に関する審議・検討を行うこども審議会の機能を強化し、各種課題への対応を審議する専門部会を設置
→通常の審議会委員に加え、必要に応じて専門家を招聘することで課題解決に向けた機能を強化

子育て参加促進に向けた特別休暇の取得促進

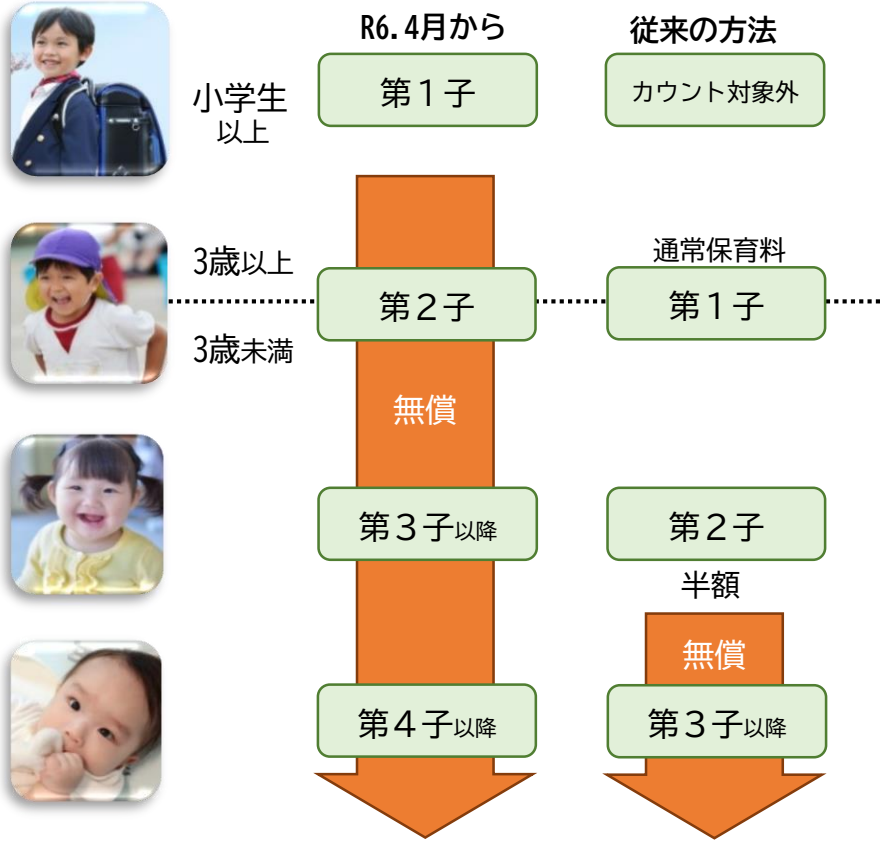
「子(子の妻)」の出産」や「孫の看護(世話)」まで拡充した職員の特別休暇の取得を推進
→地域でこどもを育てる職場風土を嘉飯圏域全体に広げる動きをリード

【独自事業】第2子以降の保育料完全無償化

生計が同一のこどものうち、第1子の年齢制限を設けずに、市内在住の0～2歳児までの第2子以降の保育料の完全無償化を実施
※同時利用やきょうだいの年齢に関わらず、生計が同一のこどものうち最年長者を第1子、その下の子を第2子としてカウント

●きょうだい児のカウント方法と保育料無償化対象のイメージ

※保護者とこどもが市内に居住している場合が対象となる



●無償化による影響額（予算ベース）

	令和7年度		令和8年度	
	対象件数	影響額	対象件数	影響額
保育所	4,949件	1億1,289万円	5,084件	1億2,792万円
認定こども園	2,891件	6,968万円	3,115件	7,704万円
認可外等	1,391件	4,505万円	735件	2,476万円
合計	9,231件	2億2,762万円	8,934件	2億2,972万円



共働き世帯、多子世帯の経済的支援を促進



【独自事業】おむつのサブスク事業

公立保育施設で利用しているおむつは、保護者が記名をしたおむつを持参して利用しているが、在庫管理の手間や登園時の荷物が増えるなど、保護者・保育従事者双方の負担になっている。

保護者と保育従事者双方の負担軽減を図るため、月々定額でおむつ・おしりふきの利用が使い放題になるおむつのサブスク事業を実施する。

①実施施設：**公立保育所・認定こども園　5施設**

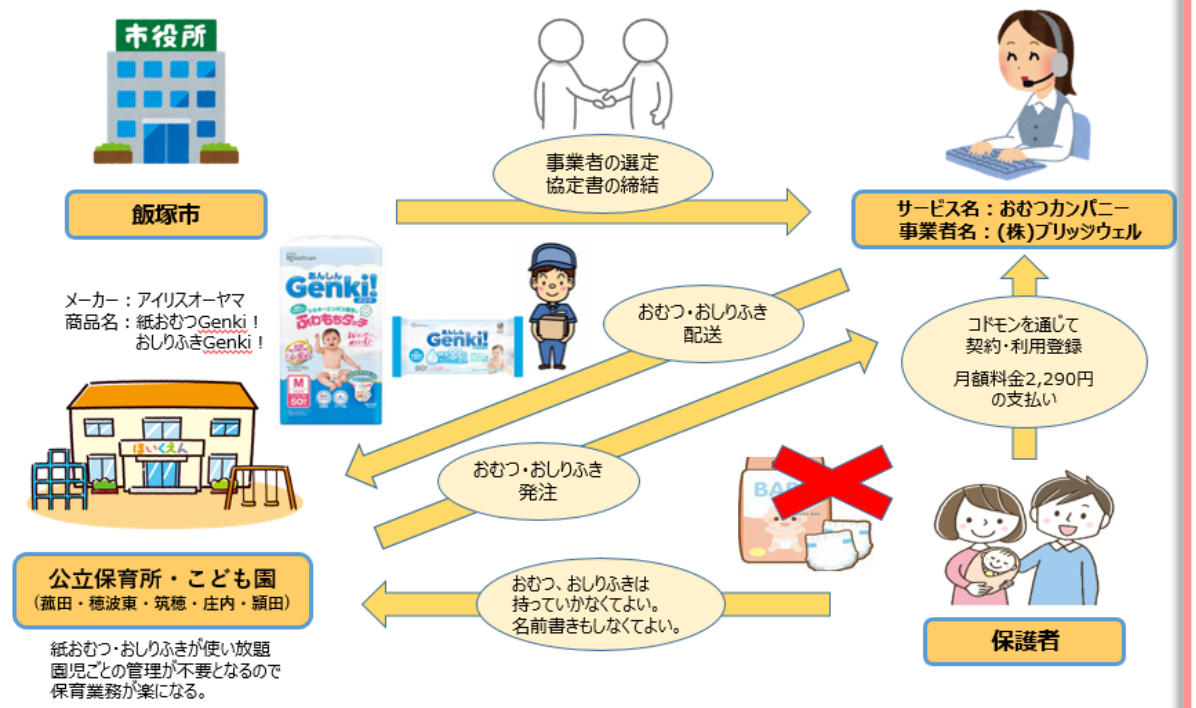
②事業期間：**令和8～10年度**（必要に応じて更新）

③対象園児：**0歳～2歳児**クラスに在籍する園児
その他希望する園児

④利用料金：月額　**2,290円**
（2歳の誕生月から　**1,480円**）

⑤その他　：**おむつ・おしりふき**が**定額**で**使い放題**
災害時に施設がストックしているおむつ・おしりふきを**避難所等で活用**することも検討

おむつの定額制サービス（おむつサブスク）のイメージ図



**保護者の負担を軽減し、
子育てしやすい環境整備を推進**

こども審議会の機能強化

こども施策に関する審議・検討を行うこども審議会において、定例の会議だけでなく、各種課題への対応を審議する専門部会を設置し、機能を強化

【設置している専門部会(予定を含む）】

①公立保育所における医療的ケア児受入の検討

医療的ケアが必要な児童から保育の申込があった場合、提出書類及び体験保育の結果を踏まえ、受入の可能性を検討する

②公立保育施設の外部評価

公立保育施設を訪問し、保育状況の見学・施設長との面談を行い、評価基準表に基づく評価と施設長への総評の通知等を行う

③苦情解決のための第三者委員会

保護者から公立保育施設に対して苦情申し立てが出された際に聞き取り等により解決を図る



④子育て支援センター業務事業者選定

子育て支援の拠点となる子育て支援センター運営業務の委託事業者をプロポーザル方式により選定

⑤こども審議会委員から提案されたテーマ

通常の審議会委員に加え、
必要に応じて専門家を招へいすることで
課題解決に向けた機能を強化

【独自事業】子育て参加促進に向けた特別休暇の取得促進

定年延長等で現役で働く高齢者が増えるなかで、子育てを支援するために、子育て世代だけでなく、その親の世代も子育てに積極的に関わって、里帰り出産などの支援ができるよう、職員の特別休暇の適用範囲拡充を令和7年度から実施しており、その取得を促進する。

①対象者　子もしくは子の妻が出産をする職員
中学校就学前までの孫を養育する職員

②取得事由　子もしくは子の妻の出産 **3日以内**
孫の看護 **5日以内**



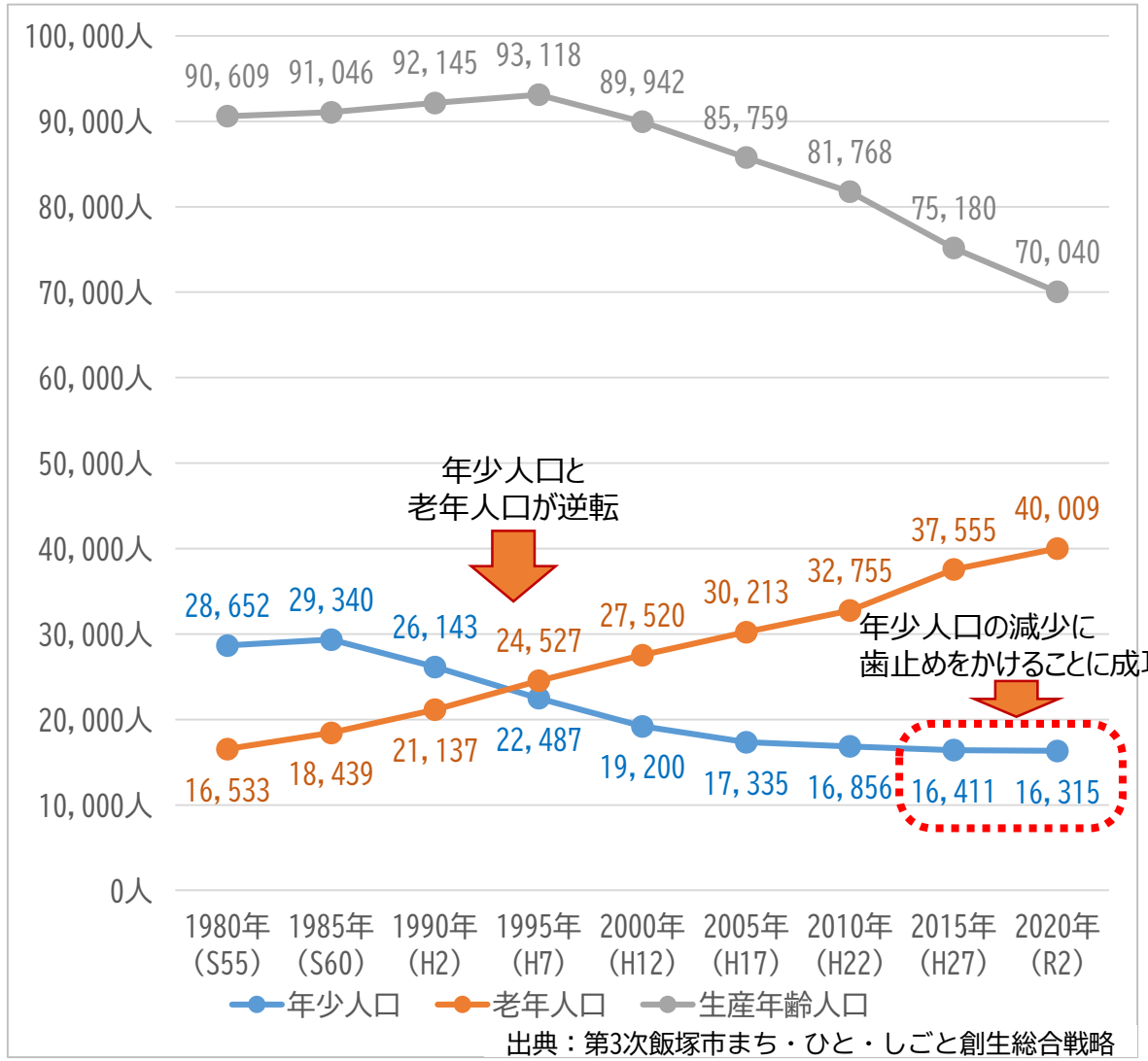
【他の自治体や民間企業の状況】

実施 自治体	宮城県・神奈川県 千葉市・浜松市・広島市・北九州市・岡山市 福島県郡山市・長野県諏訪市・岐阜県大垣市 愛知県一宮市・三重県桑名市・佐賀県武雄市　など
実施 民間企業	第一生命・江崎グリコ・リンガーハット・九州電力TOTO 佐賀銀行・肥後銀行・おきなわFG　など

地域でこどもを育てる職場風土を
嘉飯圏域全体に広げる動きをリード

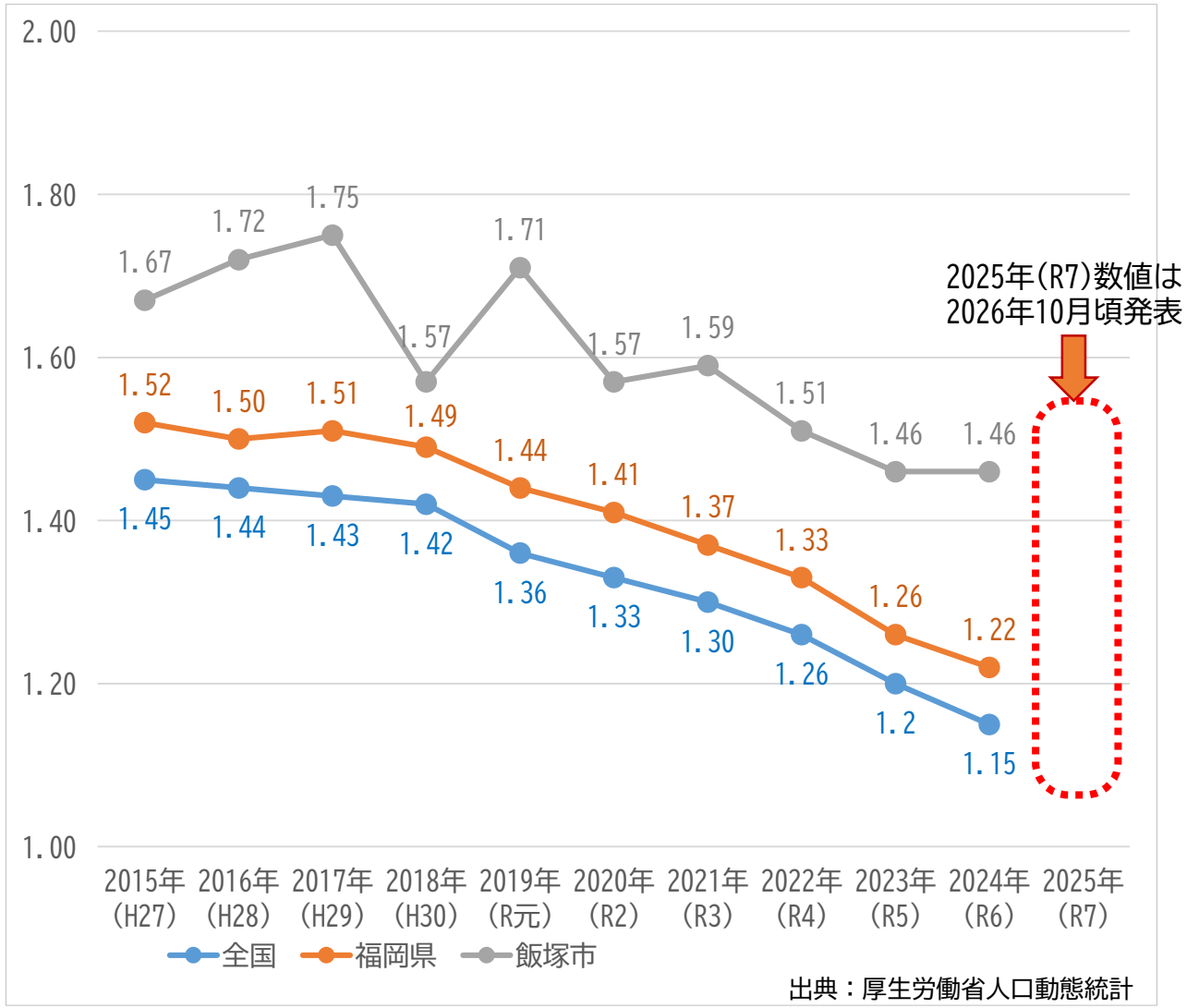
子育て支援策の成果

●飯塚市の年齢３区分人口の推移



「教育の充実」と「子育て支援の充実」による効果が出てきた！

●飯塚市の合計特殊出生率の推移



未婚・晩婚化のなか、合計特殊出生率の維持には、第2子以降を生むことが可能な環境づくり、共働き支援が重要！

地元に働く場所がある「活力あるまち」

～　飯塚市の『ブロックチェーン推進宣言』
『企業誘致』『地域雇用活性化推進事業』～



飯塚市経済部

大学の集積 ～大学の研究と人材 ～

■2025(令和７)年３月実績

卒業者数　　1,138名

学部生：870名

院生　：268名

⇒　就職者数　776名

／大学院進学者数　297名

産学官連携の基盤が充実
学生が地域で活躍



きんきだいがくさんぎょうりこうがくぶ
近畿大学産業理工学部



きんきだいがくきゅうしゅうたんきだいがく
近畿大学九州短期大学



きゅうしゅうこうぎょうだいがくじょうほうこうがくぶ
九州工業大学情報工学部

大学名	学生数	研究者／職員数	合計
九州工業大学　情報工学部	2,331	286	2,617
近畿大学　産業理工学部	1,832	91	1,923
近畿大学　九州短期大学	163	57	220
合　　計	4,326	434	4,760

●学生のうち女性割合　22.21%

（令和７(2025)年10月１日現在／飯塚市調べ）

『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組



飯塚市は、2021年11月15日に「飯塚市ブロックチェーン推進宣言」 を行い、
産学官連携によりブロックチェーン技術に取り組むことを発信しました。

『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

Back ground　産業振興 ／ まちづくり

理工系大学の立地

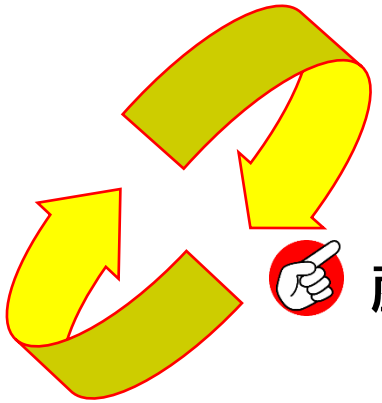
●研究者　約200名
●学生　約4,300名



国立大学法人 九州工業大学



近畿大学 KINKI UNIVERSITY



産学官ネットワーク

情報技術に優れた ベンチャー・スタートアップ

chaintope　HAW International Inc　Thomas Lab　RAMROCK 株式会社 ラムロック

ブロックチェーンは、
既存の情報技術を組み合わせることで新たな価値や用途を創出することに成功した技術。

技術要素	まちづくりへの効果
改ざん耐性	不正・事故の抑止、信頼の基盤
分散型台帳	共創　市民の参加・見守り合いが可能な仕組み
トレーサビリティ	行政手続きや情報開示の透明性確保、説明責任
スマートコントラクト	効率性と公平性の両立
安定性・透明性	システム不具合の抑制、誤解を防ぐ情報発信

安心できる生活、透明な行政、市民参画の市政運営、見守り合い・分かち合えるまちづくり

市民、企業、行政等が、ともに信頼で支え、ともに成長

『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

『飯塚市産学官産業共創ビジョン』2022~2026

Ｎｅｘｔトライバレー　～ブロックチェーンを核とした新産業の創出～

２０２２ ⇢ ２０２７

競争力になる

3 ブロックチェーンを核とした
新産業創出エコシステムの形成
企業の集積、市内産業の高度化、移出産業化

担い手になる

2 ブロックチェーンビジネスの開発
創業・研究開発支援、実証実験の推進、社会実装に向けた取組

1 ブロックチェーンの裾野の拡大
技術者の育成、学生の育成、市民の認知拡大

投資・還元により加速

目指す姿

ブロックチェーン技術が
市内産業の付加価値を高める

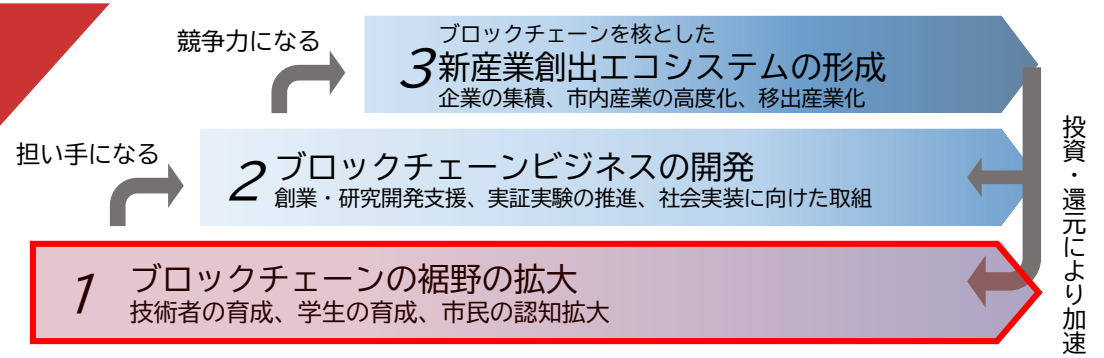
ブロックチェーン技術が
暮らしの様々な場面で
活用されている

日本一
ブロックチェーン人材を
輩出している

『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

人材育成と市民認知

～人材が育ち、巣立ち、帰巣できる～



福岡県と協働実施
大学生や技術者の育成を目指すＢ３



Ｒ３：学生　２０名
Ｒ４：学生　３７名
　　社会人３９名
Ｒ５：学生　３０名
Ｒ６：学生　３２名
Ｒ７：学生　２０名
　　計１７８名

中学生にブロックチェーン授業　【Ｒ４～　】
市内企業：ハウインターナショナル株式会社による校内学習



Ｒ４：８校３５０名
Ｒ５：６校３５０名
Ｒ６：５校４００名
　　計１，１００名

九州工業大学
社会連携講座Ｗｅｂ３Ｌａｂ　【Ｒ５～　】



Ｒ５：５０名
Ｒ６：５０名
Ｒ７：３６名
　計１３６名

フクオカ・ブロックチェーン・アライアンス2025
【2025.１2.23】



来場者数　約８０名
登壇企業　　８社

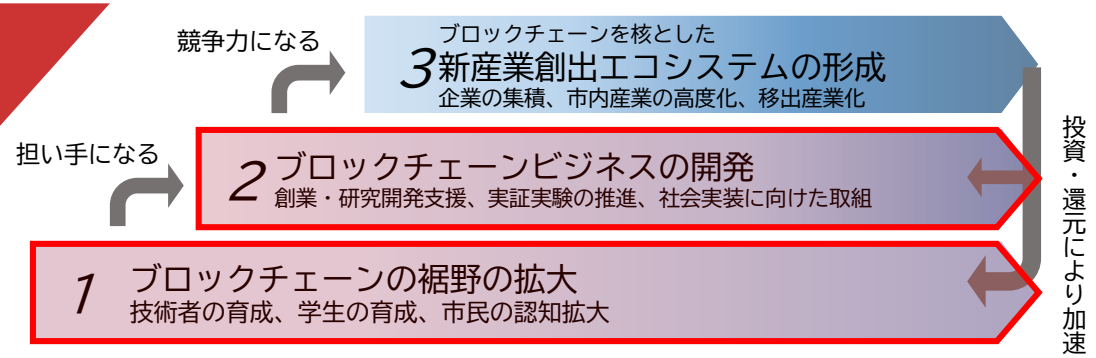
『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

実証実験と市民参加

実証実験支援　採択累計6件
※令和5年度～7年度

R5	株式会社 プラグテック	ブロックチェーンを用いた次世代駐車場
R5	VMO Japan 株式会社	ブロックチェーン技術を活用した販売システムの実証実験
R6	株式会社 Archeda	衛星データを利用した伐採及び造林に係るモニタリング実証
R7	渋谷Web3大学 株式会社	飯塚市公式LINE連動／QAQA－BO『飯塚防災の輪チャンネル』&DID／VC避難所受付　一体防災DX実証 誰も取り残さない防災啓発プラットフォームへの挑戦
R7	㈱PGV	パッチ式脳波計を活用したMCI・認知症スクリーニング実証事業

（ブロックチェーン案件は3件）



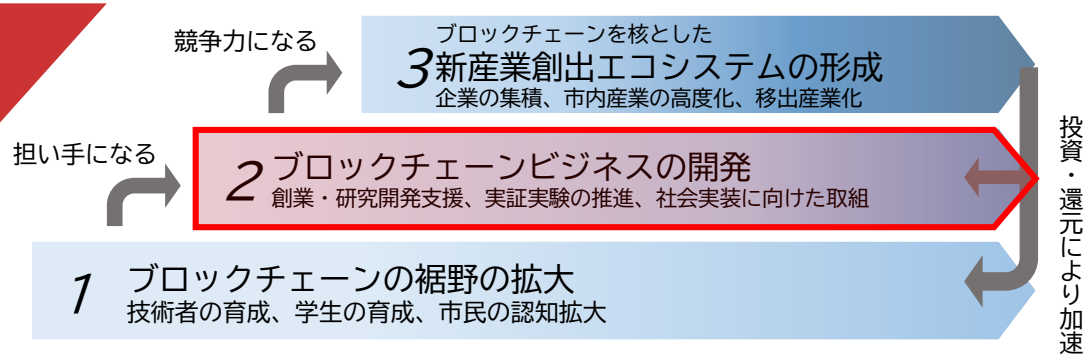
DID／VC実証事業
防災啓発・避難所受付等への活用を！



『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

ブロックチェーン技術の実用化に関する研究開発

開発支援（補助制度）　採択累計8件
※令和3年度～7年度



R3	株式会社chaintope	デジタル行政証明書の本人申請に基づく自動交付に係る実証事業
	株式会社カグヤ	地方創生トークン発行プラットフォーム開発
R4	株式会社chaintope	著作者の署名情報を含んだ画像データの流通に関するシステム開発
	株式会社TRIART	不完全化された個人情報手渡しシステム構築
	株式会社トーマスラボ	遺産情報を遺族に共有するサービスにおける最適な暗号技術」を活用したシステムの開発
R5	株式会社chaintope	検証可能なクレデンシャルを用いた開錠装置の開発
R6	Blissway株式会社	地元飯塚の焼鳥を世界に届ける、飲食店立ち上げのためのインフラアプリケーション開発　※途中辞退
	株式会社ワーキングハセガワ	ブロックチェーンを活用した環境トレーサビリティ付きの次世代医療ウェア開発プロジェクト
R7	株式会社chaintope	ブロックチェーンによりデータの信頼性を担保するヒヤリハットAI分析サービスの開発

日本初、医療ウェアにデジタル製品パスポートを実装

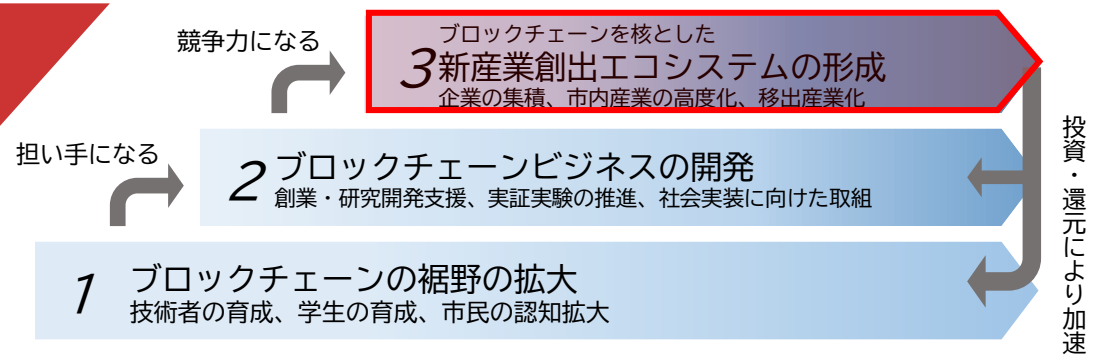


国内の『グッドデザイン賞』、ドイツの『iF DESIGN AWARD 2026』『Green Product Award 2026』など、国内外の主要なデザイン賞・環境賞を受賞！



『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

グローバル化



APNG Camp Japan2025　～飯塚開催～

APNG CAMP 17

APNG Camp 2025

Review Report for the 17th APNG Camp 2025 in Iizuka, Japan

アジア太平洋諸国より
24か国、150名の学生が集結！
地元高校生も英語でスピーチ！！



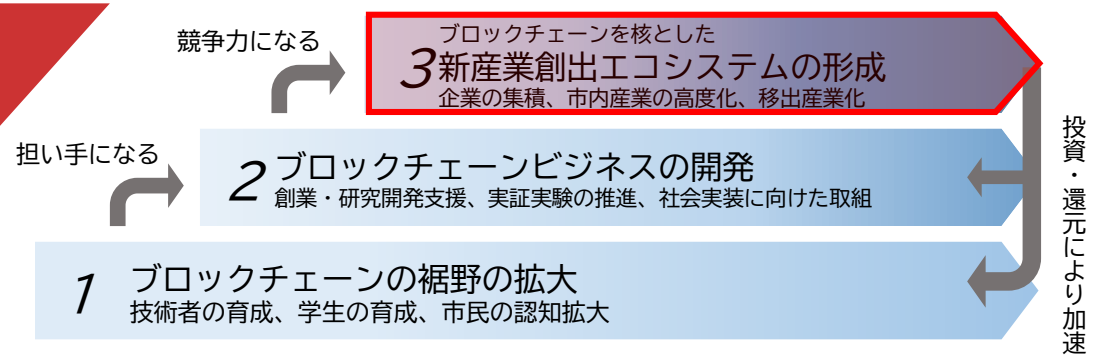
延世大学
ブロックチェーン・Web3リーダーシップ最高位課程視察受け入れ

経営者、弁護士、会計士等の
韓国トップランナーが来飯！
九工大生が研究事例を共有！！



『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

重点施策



1．企業の集積・コミュニティの拡大

e-ZUKAトライバレーセンターの積極活用
- サテライトオフィス誘致によるプレイヤーの集積
- 学生のコミュニティ形成とスタートアップ創出

2．市内産業の高度化支援

課題解決型実証実験プロジェクトの誘致



3．移出産業化

グローバルコネクト福岡など、他の経済圏・ＭＩＣＥ等と
連携強化



飯塚市直営インキュベーション
e-ZUKAトライバレーセンター

APNG CAMP 17
MICEの実現

『ブロックチェーン技術』を核とした地方創生、新産業創出の取組

「挑戦するヒトと共に未来を創る」

IT関連企業・研究者・拠点集積による新産業創出エコシステムの形成

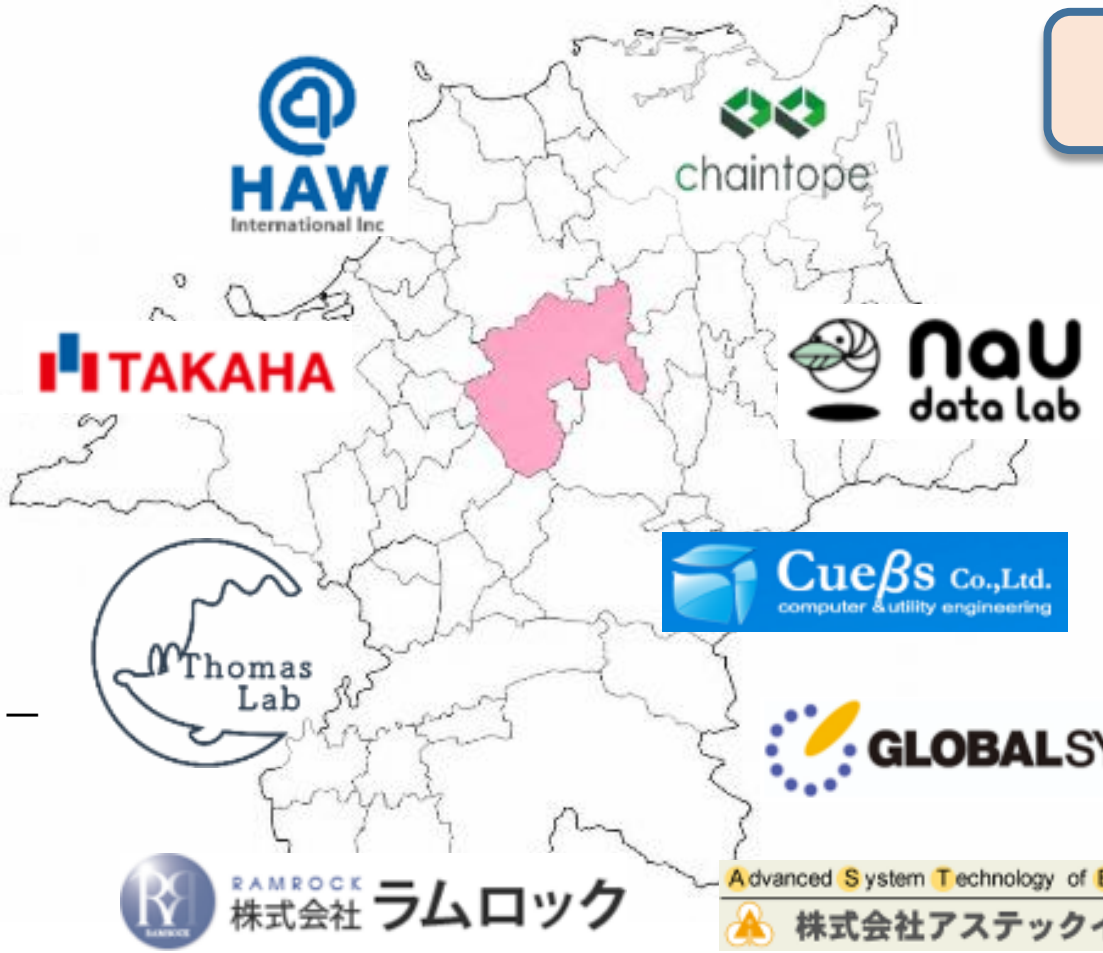
大学（学生・研究者）
※学生数人口比3.5%は政令市並

国立大学法人 九州工業大学

近畿大学 KINKI UNIVERSITY

研究施設・産業支援機関

九州工業大学マイクロ化総合技術センター
九州工業大学先端金型センター
九州工業大学インキュベーション施設
福岡県立飯塚研究開発センター
株式会社福岡ソフトウェアセンター
e-ZUKAトライバレーセンター



IT関連企業
※大学発ベンチャーも多数輩出

TRIART
caguya 株式会社 カグヤ
OPTiM
場 Blockchain Awakening
GLOBALSYSTEMCREATE
Advanced System Technology of Environment and Quality 株式会社アステックインタナショナル

企業誘致

取組の概要

▼主な企業誘致実績　2019（令和元)年度～2025（令和7）年度（7年間）

企業数（工場等開設企業数）	新規雇用人数	土地譲受額	設備投資額	計
15社　17工場 ㈱イズミ ゆめタウン飯塚、 沢井製薬㈱新工場他	1,972人	46.9億円	776.1億円	823億円

＜今後の計画（～2029（令和11）年度）＞

沢井製薬㈱第二九州工場 設備導入（増設）
山口重工業㈱（新設）、一番食品㈱（増設）　他2社
⇒工場開設見込（新設・増設）： 5社
✓新規雇用人数　206人
✓投資額　188.6億円

固定資産税収（年額）

7.6億円／年

＜2019（令和元）年度～2029（令和11）年度までの見込＞

企業数	新規雇用人数	土地譲受額	設備投資額	計
19社　22工場等	2,178人	46.9億円	964.7億円	1011.6億円

企業誘致

企業誘致の受け皿となる工業団地整備

●飯塚市では、働く場の創出・税収確保のため、企業誘致用地の確保を進めています。

福岡・北九州の二大都市圏に近く、九州全域へアクセス良好な地理的優位性

これまで、自動車、食品、運送関連など、多様な企業の誘致に成功

▼現在整備中の工業団地

事業実施主体	工業団地名称	開発面積	供用開始予定
① 飯塚市	飯塚あかね工業団地（仮称）	25.1ha	2029（令和11）年度
② 民間事業者	鯰田･有井開発地	30.6ha	2028（令和10）年度

※ ②鯰田・有井開発地については、市と民間事業者が連携して企業誘致に取り組む

＜これまでの主な実績＞

- 目尾工業団地（2008(H20)年9月～造成、1.3ha）：分譲完了
- 鯰田工業団地（2008(H20)年10月～造成、36.3ha）：分譲完了
- 栗尾工業団地（2023(R5)年4月～造成、6.4ha）：分譲完了

※市内24の工業団地は全て売却済み



鯰田工業団地（2010(平成22)年3月完成）

地域雇用活性化推進事業（厚生労働省委託事業）

飯塚市の地域雇用活性化推進事業について

事業タイトル	違いを力に。デジタル × グローカル人材 雇用共創プロジェクト				
人口(※1)	124,962人	人口減少率(※2)	3.13%	高齢化率(※1)	32.22%

※1：R6.1.1時点
※2：(H31.1.1の人口－R6.1.1の人口)/ H31.1.1の人口
なお、全国平均は2.01%

地域の現状・課題

・市内事業所の課題は、人材の確保・育成が最も多いが、原材料価格の高騰や資金調達を課題とする事業所の割合も高い（課題の多様化傾向）
・新型コロナウイルス感染症に係る融資の返済が本格化する中、人材の確保育成とともに事業の維持・拡大、物価高対策の相談が増加
・第2次産業の付加価値額は全国的に低い水準
・就業者割合の高い医療・福祉は労働生産性が著しく低い
・人口減少・高齢化が進行する中、令和2年の労働力人口は平成27年との比較で▲1,187人
・第2期事業についてデジタルを手法とした具体的な事業目的の設定が不十分

事業の全体像

企業誘致や産学官の連携のもと、多様化する事業所の課題解決のために、デジタル化による事業所の魅力向上・事業拡大及び多様な人材が活躍できる職場環境づくりを進めるとともに、デジタルを用いて課題解決を図るグローカル人材の育成に取り組み、就職促進を図る。これらの取組において地域の経済団体、就労支援機関等との連携を強化し、地域経済の好循環と多様な人材が活躍できる雇用環境づくりを進め、地域が描く将来像である「働く場所をつくり、住む場所、学ぶ場所として選ばれる飯塚市」の実現を雇用面で担う。

具体的な取組内容

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】
- 製造業、福祉、卸売・小売業

- 生産性向上・事業創出講習会
- ICTを活用した情報発信力向上講習会
- DX推進人材育成講習会
- 女性活躍等x健康経営講習会

《伴走型支援》
- 課題解決手法の習得における伴走型支援及び好事例・ノウハウの展開

マッチング！

C 就職促進の取組
- 情報発信事業（WEBページ、SNS活用）
- DX×グローカル人材共創マッチング事業
- DX×ダイバーシティ推進 合同会社面談会
- オンライン合同プレゼン会　等

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】
- 若者、女性、就職氷河期世代をはじめ40～50歳代求職者、UIJターン就職希望者

- 課題解決型Webデザイン講習会
- キャリアデザイン講習会
  【子育て女性／就職氷河期世代】
- デザイン思考習得講習会

雇用創出（目標数(3年度計)）
280人

労働局・ハローワーク
＜連携できる主な支援＞
・職業相談、職業紹介
・職業訓練
・雇用・労働関係助成金

経済産業局
＜連携できる主な支援＞
・小規模事業者持続化補助金
・中小企業支援事業補助金等

大学
＜連携できる支援＞
デジタル人材育成等経済団体
＜連携できる主な支援＞
・経営・創業支援

市役所
＜連携できる主な支援＞
・企業立地促進補助金
・デジタル人材育成事業
・起業家育成事業
・販路開拓支援事業等

地域雇用活性化推進事業（厚生労働省委託事業）

事業における２つの視点

①デジタルの活用

事業所の人材不足、事業の維持・拡大、物価高対策をデジタルを手法として解決

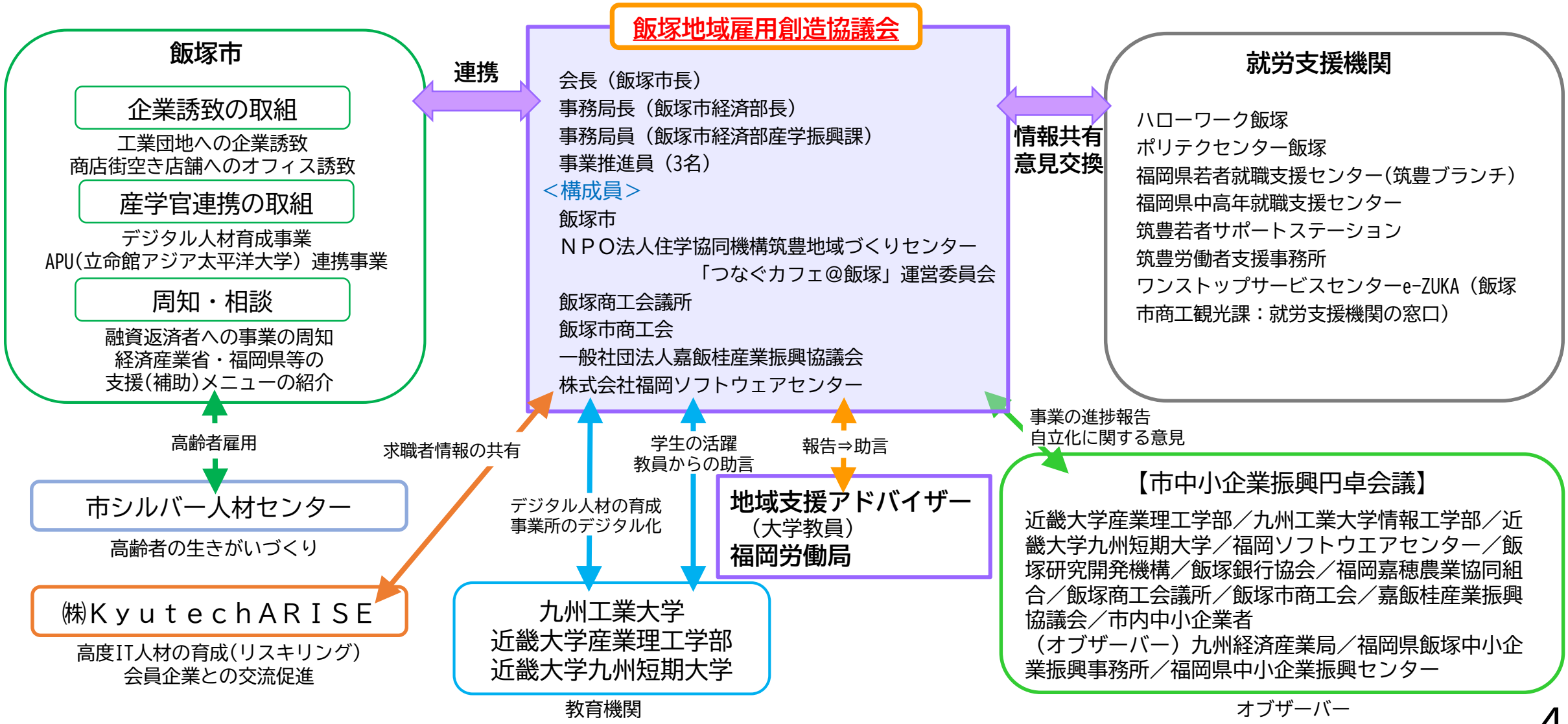
②グローカル人材（グローバル×ローカル）の育成

グローカル人材（多様性(違い)を活かして課題解決できる人材）の育成を図り、事業所で活躍し、地域経済の持続的な成長の実現を目指す

- ✓ グローバルとは多様な人材と答えを共に創ること
- ✓ ローカルとは地域に根差して地域課題を解決すること

地域雇用活性化推進事業（厚生労働省委託事業）

協議会の連携・協力体制



地域雇用活性化推進事業（厚生労働省委託事業）

これまでの実績

●事業参加事業所(延べ数)・求職者数(延べ数)・雇用者数

	実施年度	事業所数 (単位：事業所)	求職者数 (単位：名)	雇用者数 (単位：名)
第１期 令和元年10月～令和4年3月	令和元年度	37	26	28
	令和2年度	140	221	90
	令和3年度	156	202	60
	（第１期）小計	333	449	178
第２期 令和4年10月～令和7年3月	令和4年度	90	126	31
	令和5年度	307	305	132
	令和6年度	286	287	104
	（第2期）小計	683	718	267
第3期 令和7年10月～令和10年3月	令和7年度	133	191	132
	令和8年度			
	令和9年度			
	（第3期）小計	133	191	132
合　計		1,149	1,358	577

まちの魅力で人口の維持・増加へ・・・

●これまでの選ばれた理由

- 福岡・北九州都市圏と良好なアクセス
- 安価な生活費と住居費
- 知っている人だけ知っている飯塚市の魅力
- 生まれ育った土地への愛着
- 仕事上の必要に駆られて

＋

●飯塚市のイメージの定着（ブランディング）を目指したプロモーションの既存価値軸

シビックプライドと移住者プライド

- 確かな学力と未来志向の人材育成のまち
- 自然豊かで 子育てしやすいまち
- スポーツ振興を通じた多文化共生のまち
- 企業誘致と働く場所があるまち
- まちの起源と変遷・移り行く文化が薫るまち
- まちへの愛着と応援されるまち

＝

●イメージ打ち出し（私）案

◆3つの大学がある街で こどもの未来をアップデート！

◆子育てし 暮らす場所！

◆福岡・北九州もすぐそこ。 でも、飯塚にも、 仕事も子育てする環境もある！

◆暮らす場所と通勤通学場所が揃う、ゆとりを生むまち！

◆コスパ最強‼タイパも最高‼

◆これから見つかる秘密基地！

◆まだ揃ってないから、 チャンスが残る！

『認識されている価値』と『今、既にある価値』を融合した『イメージ』の打ち出しと定着により、
『住みたいまち　住みつづけたいまち』の実現につなげ、さらなる魅力ある元気な飯塚市へ‼